

製品名: Frizzled-5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11145**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	FZD5
別名	FZD5; C2orf31; Frizzled-5; Fz-5; hFz5; FzE5
遺伝子 ID	7855.0
SwissProt ID	Q13467
免疫原	抗血清はヒト FZD5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 461-510

背景

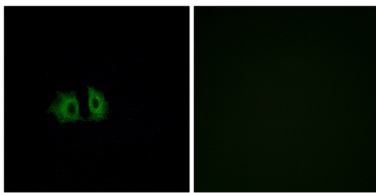
frizzled クラス受容体 5 (FZD5) ホモサピエンス [frizzled] 遺伝子ファミリーのメンバーは、Wnt シグナル伝達タンパク質の受容体である 7 つの膜貫通ドメインタンパク質をコードしています。FZD5 タンパク質は、Wnt5A リガンドの受容体であると考えられて

います。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],domain:Lys-Thr-X-X-X-Trp モチーフは、Wnt/ β -カテニンシグナル伝達経路の活性化に関与しています。、domain:FZ ドメインは Wnt リガンドとの結合に関与しています。、domain:PDZ 結合モチーフは GOPC との相互作用を媒介します。、function:Wnt タンパク質の受容体。frizzled 受容体のほとんどは、 β -カテニンの標準的なシグナル伝達経路に結合しており、disheveled タンパク質の活性化、GSK-3 キナーゼの阻害、 β -カテニンの核内蓄積、および Wnt 標的遺伝子の活性化につながります。PKC とカルシウムフラックスに関わる第 2 のシグナル伝達経路が、ファミリーメンバーの一部で確認されていますが、PKC は Wnt シグナル伝達による GSK-3 キナーゼの不活性化に必要であると考えられるため、これが独立した経路なのか、それとも標準経路に統合できるのかはまだ明らかではありません。どちらの経路も G タンパク質との相互作用を伴うと考えられます。組織形態形成時および/または分化組織における極性情報の伝達および細胞間伝達に関与している可能性があります。Wnt5A と特異的に相互作用し、 β -カテニン経路を誘導します。、類似性: G タンパク質共役受容体 Fz/Smo ファミリーに属します。、類似性: 1 つの FZ (frizzled) ドメインを含みます。、細胞内局在: 細胞膜に局在し、ゴルジ体にも存在します。、サブユニット: GOPC と相互作用します。、

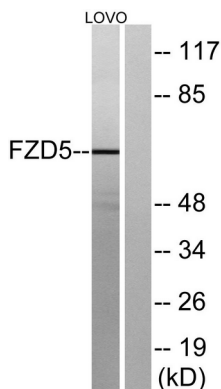
研究分野

WNT、WNT-T 細胞、メラニン生成、がんの経路、大腸がん、基底細胞がん

画像データ



FZD5 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



FZD5 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。